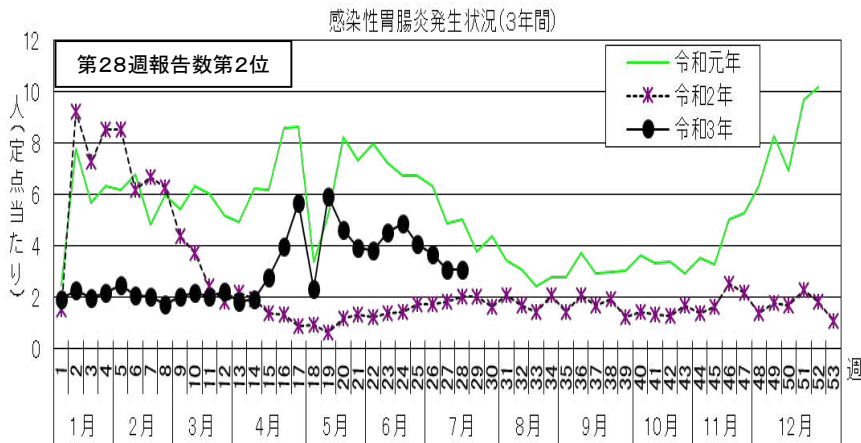
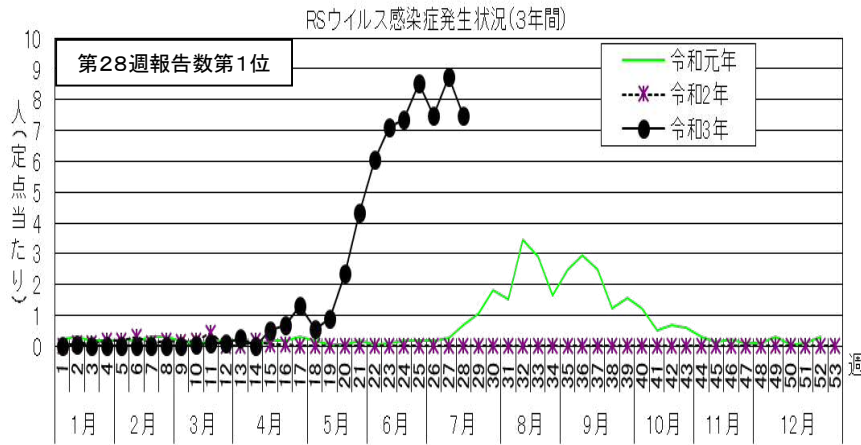


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年7月12日（月）～令和3年7月18日（日）〔令和3年第28週〕の感染症発生状況

第28週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) RSウイルス感染症 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は7.49人と前週（8.76人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.08人と前週（3.05人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.89人と前週（0.86人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



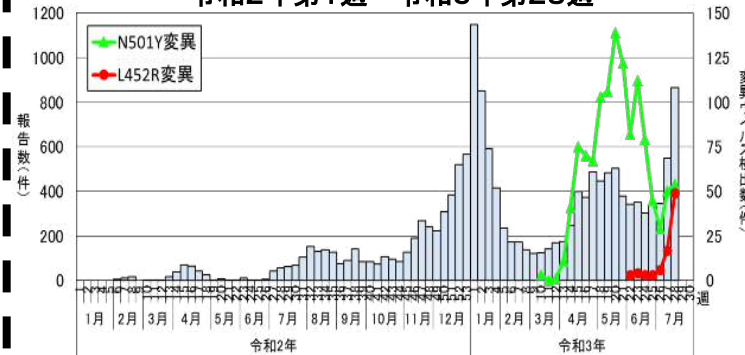
新型コロナウイルス感染症～デルタ株が増加しています！～

川崎市における令和3年第28週（7月12日～18日）の新型コロナウイルス感染症の報告数は865件と、前週の548件から大幅に増加しました。

新型コロナウイルスは変異しやすく、国内でもこれまでに複数の変異ウイルスが報告されています。市内では、5月の時点でほぼ全てが従来株から英国由来のアルファ株に置き換わりました。7月以降は、インド由来のデルタ株が増加し始め、それに伴い報告数も急増しています。

変異ウイルスであっても感染対策は従来と同様ですので、大人数でのスポーツ観戦などは避け、自宅のテレビなどで応援しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況及び変異ウイルス検出状況*
— 令和2年第1週～令和3年第28週 —



※川崎市健康安全研究所及び民間検査機関等での検出数

アルファ株とは？

- ・2020年9月に英国で最初に検出
- ・主な変異はN501Y領域
- ・感染性、重篤度が従来株より高い
- ・国内におけるアルファ株の割合は約8割（令和3年6月2日時点）

デルタ株とは？

- ・2020年10月にインドで最初に検出
- ・主な変異はL452R領域
- ・アルファ株よりも感染性が高い
- ・ワクチン効果を弱める可能性あり